

週刊 タバコの正体



「ガベージニュース」サイトから



さ。20代男性の喫煙率は30%を下回っていますし、30代でも40%を切っています。教育を受けた世代がどんどん育ってきている事がわかります。

世間を見渡せば、まだまだタバコを吸う人を目にする機会が多いですが、皆さんのような若者が着実に増えています。いつか、タバコを必要としない健康面で安全な社会がやってくるかも知れません。

タバコは「百害あって一利なし」と言われています。皆さんはその訳を知っていて、「一生、タバコを吸わない」と思っている人がほとんどですよ。

ところが、左上のグラフを見てください。30歳～40歳代の男性では40%以上もの人が喫煙者だという調査結果がでています。でも、20歳～24歳では少ないのがわかりますか。

30代や40代の人たちの喫煙率が高く、君たちに近い若い世代が低いのはどうしてでしょうか。

それは、「タバコは百害あって一利なし」という教育を受けたかどうかの差だと思われます。

例えば、現在40歳の方が高校生の頃、「タバコは大人になってから」とは教えてくれましたが、タバコは有害である事をきちんと教えてくれる機会はほとんどありませんでした。それに対して、現代の高校生は、小学生の頃からタバコの有害性の教育を受けてきた人も多いと思います。

そこで、上図(2013年)の調査から3年たった下図(2016年)のグラフを見て下